

履修に関する注意事項（2018年度以前入学学生向け）

- ※ 「〇〇年度以前／以降に入学」とは、〇〇年度に入学した学生を含むことに注意する。学籍番号の先頭の4桁が入学年度である。
- ※ 卒業要件は入学時に配布された「入学年度の履修要覧」に準拠する。ただし編入学者等は、自身の編入時の標準的な同級生と同じ履修要覧が適用される（履修要覧に定められた「入学許可年次に適用される教育課程等で定められている年度」参照）。
- ※ 2022年度は2021年度から一部の専門科目・専門基礎科目の開講時間が変更になっている。
- ※ 開講される曜時限が重複する科目は、講義の実施形態（対面、オンライン（オンデマンド型）など）にかかわらず、同時に履修登録することはできない。
- ※ 工学システム学類開設の科目については、2018年度以前入学学生向けに開講されている科目を、原則として履修すること。

1 総合科目Ⅱ・Ⅲの履修について

2015年度以降に入学した学生より総合科目Ⅲ（1単位）が必修となり、これを3年次に履修することとなっていたが、今年度から総合科目Ⅲは廃止されたため、3・4年次向けの学士基盤科目の単位修得をもって総合科目Ⅲの単位を修得したものとみなす。

総合科目Ⅱは2020年度より廃止されている。一部の専門導入科目の単位を履修することで総合科目Ⅱの単位を修得したものとすることができる。詳しくは開設授業科目一覧を参照すること。

専門導入科目、学士基盤科目ともに事前登録が必要となるので、注意すること。

2 専門基礎科目必修科目の履修について

前年度までに専門基礎科目必修科目の単位を未修得の学生は、今年度次のように当該科目の内容を履修する。

○ **同名の講義が単位未修得学生を対象として開講される科目**

工学システム原論Ⅰ (FG10611), 工学システム原論Ⅱ (FG10631), および
物理学実験 (FG10513)

工学システム原論Ⅰは工学システム概論と同一教室で開講される。

工学システム原論Ⅱは工学システム原論と同一教室で開講される。

物理学実験は、夏季休暇または春季休暇中に集中講義として開講される。履修希望者は学類長に申し出ること。

○ **同内容の科目の単位を修得する科目**

線形代数 A (3 単位) : 「線形代数 1」 (1 単位), 「線形代数 2」 (1 単位) および
「線形代数 3」 (1 単位)

線形代数 B (3 単位) : 「線形代数総論 A」 (1 単位) および
「線形代数総論 B」 (2 単位)

解析学Ⅰ (2 単位) : 「微積分 1」 (1 単位) および「微積分 2」 (1 単位)

解析学Ⅱ (2 単位) : 「微積分 3」 (1 単位) および「解析学総論」 (1 単位)

解析学Ⅲ (2 単位) : 「常微分方程式」 (2 単位)

力学Ⅰ (2 単位) : 「力学 1」 (1 単位) および「力学 2」 (1 単位)

力学Ⅱ (2 単位) : 「力学 3」 (1 単位) および「力学総論」 (1 単位)

電磁気学Ⅰ (2 単位) : 「電磁気学 1」 (1 単位) および「電磁気学 2」 (1 単位)

上記左側に示す専門基礎科目の単位は、右側に示す同内容のすべての科目の単位を修得することによって、修得したものとみなす。右側に示す同内容の科目のうち、線形代数 1～3, 微積分 1～3, 力学 1～3, 電磁気学 1, 2 は 2020 年度入学生向けの**専門導入科目**であり、事前登録が必要になる。

3 専門科目必修科目の履修について

前年度までに下記の専門科目必修科目の単位を未修得の学生は、今年度は次のように当該科目の内容を履修する。

○ **知的工学システム主専攻, 機能工学システム主専攻**

複素解析 (FG20144, FG30144) :

所属する主専攻の科目番号の科目を履修登録し、「複素解析」 (FG10784 または FG10794, 春 AB 月 12) の一方を履修する。

プログラミング序論 A (FG20184, FG30184) :

所属する主専攻の科目番号の科目を履修登録し、「プログラミング序論 A」(FG10874, 春 AB 水 12)を履修する.

プログラミング序論 B (FG20194, FG30194) :

所属する主専攻の科目番号の科目を履修登録し、「プログラミング序論 B」(FG10884, 春 C 水 12)を履修する.

電気回路 (FG20151, FG30151) :

所属する主専攻の科目番号の科目を履修登録し受講する。「電気回路」(FG17011, 秋 BC 木 56)と同じ教室で開講される.

知的工学システム基礎実験 A (FG29193), 知的工学システム基礎実験 B(FG29203) :

当該科目を履修登録して受講する.それぞれ, 工学システム基礎実験 A (FG19103), 工学システム基礎実験 B(FG19113)と同教室で開講される.

機能工学システム基礎実験 A (FG39193), 機能工学システム基礎実験 B(FG39203) :

当該科目を履修登録して受講する.それぞれ, 工学システム基礎実験 A (FG19103), 工学システム基礎実験 B(FG19113)と同教室で開講される.

知的工学システム専門実験(FG29173), 知的工学システム応用実験(FG29183) :

当該科目を履修登録して受講する.ともに, 知的・機能工学システム実験と同教室で開講される.

機能工学システム専門実験(FG39173), 機能工学システム応用実験(FG39183) :

当該科目を履修登録して受講する.ともに, 知的・機能工学システム実験と同教室で開講される.

○ 環境開発工学主専攻, エネルギー工学主専攻

複素関数 I (FG40114, FG50114) :

所属する主専攻の科目番号の科目を登録し、「複素解析」(FG10784 または FG10794 春 AB 月 12)の一方の前半を履修する.

計算機序論(FG40344, FG50434) :

所属する主専攻の科目番号の科目を登録し、「プログラミング序論 A」(FG10894, 春 AB 金 12)を履修する.

熱力学 I (FG40171, FG50171) :

所属する主専攻の科目番号の科目を登録し履修する。「熱力学基礎」(FG10911, 春 AB 金 5)および「応用熱力学」(FG44421, FG54421, 秋 AB 金 12)と同教室で開講される.

熱力学Ⅱ (FG40181, FG50181) :

所属する主専攻の科目番号の科目を登録する。「応用熱力学」(FG44421, FG54421, 秋 AB 金 12)と同じ教室で開講される。応用熱力学の中間試験以降の内容を履修すること。

電磁気学Ⅱ (FG40161, FG50161 (2019年度の番号)) :

専門導入科目「電磁気学3」(1単位)と「電磁気学総論」(1単位)の単位を修得することで、電磁気学Ⅱ(2単位)の単位を修得したものとみなす。電磁気学3は専門導入科目であるため事前登録が必要である。

確率統計 (FG40141, FG50141) :

所属する主専攻の科目番号の科目を登録し履修する。「確率統計」(FG17031, 春 AB 金 34)と同じ教室で開講される。

環境開発工学基礎実験 A (FG49583), 環境開発工学基礎実験 B(FG49593) :

当該科目を科目登録して履修する。それぞれ, 工学システム基礎実験 A (FG19103), 工学システム基礎実験 B(FG19113)と同教室で開講される。

エネルギー工学基礎実験 A (FG59583), エネルギー工学基礎実験 B(FG59593) :

当該科目を科目登録して履修する。それぞれ, 工学システム基礎実験 A (FG19103), 工学システム基礎実験 B(FG19113)と同教室で開講される。

環境開発工学専門実験 (FG49843) , エネルギー工学専門実験 (FG59843)

当該科目を履修登録して受講する。ともに, エネルギー・メカニクス専門実験と同教室で開講される。

環境開発工学応用実験 (FG49863) , エネルギー工学応用実験 (FG59863)

当該科目を履修登録して受講する。ともに, エネルギー・メカニクス応用実験と同教室で開講される。

なお, 必修科目ではないが, 複素関数Ⅱの単位未修得学生向けに, 今年度は次の措置も合わせて行う。

複素関数Ⅱ (FG44131, FG54131) :

所属する主専攻の科目番号の科目を登録し,「複素解析」(FG10784 または FG10794, 春 AB 月 12)の後半の内容を履修する。「複素解析」の初回の授業で行われるガイダンスに出席し, 複素解析の講義の全容を把握すること。

4 主専攻振り分けについて

主専攻が決まっていない者の主専攻振り分けは, 2022 年度春学期終了時に行う。主専攻

へ進める要件(選択要件)は履修要覧理工学群履修細則別表第 2 の記載に関わらず下記のようにする。

「専門基礎科目の必修科目 8 単位以上および工学システム基礎実験 A 2 単位を含む, 合計 10 単位以上を修得していること。」

各主専攻の基礎実験を未修得の学生には, 履修要覧理工学群履修細則別表第 1 の記載に関わらず工学システム基礎実験 A, B を履修することを許可する。対象の学生は工学システム基礎実験 A を履修すること。

5 環境開発工学主専攻で, 建築士試験受験資格を得ようとする学生

材料学 I (材料学基礎, 応用材料学), 設計計画論, 材料力学 I (材料力学基礎, 応用材料力学 I), 材料力学 II (応用材料力学 II), 振動工学 I (振動工学), 防災工学の履修に際し, 以下の説明と履修要覧を参照して履修申請をすること。

a. 材料学 I (材料学基礎, 応用材料学) の履修について

2018 年度以前の入学者:

材料学 I (FG42231, 2.0 単位) が開講されている。この科目が, 建築士試験受験資格取得のための指定科目である。なお, 本科目の講義内容は, 材料学基礎および応用材料学と同一である。

b. 設計計画論の履修について

2015年度以前の入学者:

設計計画論 (FG43811, 1.0 単位) が開講されている。この科目が, 建築士試験受験資格取得のための指定科目である。

2016年度～2018年度の入学者:

設計計画論 (FG43821, 1.5 単位) が開講されている。この科目が, 建築士試験受験資格取得のための指定科目である。

c. 材料力学 I (材料力学基礎, 応用材料力学 I) の履修について

2018年度以前の入学者:

材料力学 I (FG45414, 2.0 単位) が開講されている。この科目が, 建築士試験受験資格取得のための指定科目である。なお, 本科目の講義内容は, 材料力学基礎および応用材料力学 I と同一である。

d. 材料力学Ⅱ（応用材料力学Ⅱ）の履修について

2018年度以前の入学者:

材料力学Ⅱ（2.0 単位）が開講されている。この科目が、建築士試験受験資格取得のための指定科目である。なお、本科目の講義内容は、応用材料力学Ⅱと同一である。

e. 振動工学Ⅰ（振動工学）の履修について

2018年度以前の入学者:

振動工学Ⅰ（2.0 単位）が開講されている。この科目が、建築士試験受験資格取得のための指定科目である。なお、本科目の講義内容は、振動工学（3.0 単位）の秋 AB モジュールの講義内容と同一である。

f. 防災工学の履修について

2018年度以前の入学者:

防災工学（FG45821, 1.5 単位）が開講されている。この科目が、建築士試験受験資格取得のための指定科目である。なお、本科目の講義内容は、防災工学（FG45751:2.0 単位）の 1.5 単位分と同一である。

6 同一内容・名の科目について

筑波大学では、異なる学類で、同一名の講義が開講されていることがある。原則として、同一名科目は、その中の 1 科目のみを卒業要件とすることができる。同一名であっても、講義内容が明らかに異なる科目は履修して卒業要件とすることもできるが、その場合には、履修前に学類長の許可を得ること。